

(第2号様式)

小 禄 第2604号
令和6年3月25日

沖縄県教育委員会教育長 殿

沖縄県立小禄高等学校
校長 名 幸 哲
(公印省略)

令和5年度県立学校学校評議員の運営状況について(報告)

令和5年12月12日付け教県第1744号により依頼のありましたみだしについて、下記のとおり報告します。

記

1 日時、場所、出席状況等

第1回	日時	7月21日(金)	場所	小禄高等学校 小会議室	出席 状況	4名出席 1名委任
第2回	日時	12月21日(木)	場所	小禄高等学校 小会議室	出席 状況	4名出席 1名委任
第3回	日時	3月22日(金)	場所	小禄高等学校 小会議室	出席 状況	5名出席

2 学校評議員に求めた事項

- 第1回: 学校経営方針、教育活動状況、進路部の取組と進路状況、生徒指導方針や取組と現状報告等行った後、質疑応答を行い、各評議員の立場から意見をいただいた。
- 第2回: 2学期の主な教育活動や生徒の主な活躍について紹介し、教務部・進路指導部・生徒指導部の現状と課題について説明後、質疑応答を行い、各評議員から意見をいただいた。
- 第3回: 3学期の主な教育活動や生徒の活躍、高校入試結果報告、教務部・進路指導部・生徒指導部の現状と課題、学校評価について説明後、質疑応答を行い、各評議員から意見をいただいた。

3 学校評議員の意見

- ① 避難訓練や地域清掃、近隣の保育園、こども発達支援センターの行事への協力など、積極的に地域と関わっている。今後は地域の行事などにも高校生が関わることで、社会性や公共性を育むことにつながると思う。そのような取組についても検討して欲しい。
- ② 初めて避難訓練に参加したが、生徒が積極的に園児に関わってくれてとても良かった。ただ、廊下や階段などが混雑していたので、生徒はできるだけ内階段を使う、右側通行を心がけるなどの工夫も必要。
- ③ 成人年齢引き下げにより、在校中に成人を迎えることになった。社会的責任や消費者教育等について、今後も継続して取り組んで欲しい。
- ④ 報告からスクールカウンセラーや就学継続指導員を活用した個別の生徒指導を丁寧に行っていることがわかる。家庭支援等についてはパーソナルサポートセンター等の外部機関を利用してはどうか。
- ⑤ 保健室やスクールカウンセラー等への相談件数が増加していることが気になる。新型コロナウイルス感染症の影響はしばらく続くと思うが、生徒の困り感に寄り添う対応を続けて欲しい。
- ⑥ 資格や検定試験の取り組みでは、多くの成果を上げている。継続することによって、課題となっている家庭学習時間の確保につながるのではないかと。特に英検は、大学入試にも活かせるので、今後も続けて欲しい。

4 学校運営に反映した事項

- ① 地域の清掃活動や避難訓練については、来年度以降も継続して行う。
- ② 奨学金について親子でしっかり話し合う機会が作れるように、保護者向けの説明会を充実させ、参加者を増やす工夫を行う。
- ③ 3年生に向けて消費者教育等についての学習機会を継続して設定し、成人としての自覚を促す。
- ④ 外部機関を積極的に活用し、個別支援に役立てる。

5 課題その他

現在、学校評議員会は活動報告と意見交換が中心になっているが、次年度以降、授業や部活動での生徒の様子を見ていただく機会を設けたい。